

札幌社保協 FAXニュース

2009年 4月17日(金)
 社保協事務局 発行
 TEL823-0867 Fax821-3701
 E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
 http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期高齢
 110番は4/30です

4.15年金支給日宣伝 後期高齢者医療制度 「見直し」でなく廃止だべさ!

道・札幌社保協、怒る道民の会、年金者組合などによる中心街宣伝には30人以上が参加し(写真右上)、反応がとても良く、若い人たちからも署名がたくさん寄せられました。怒る道民の会渡辺代表のほか、道社保協、道民医連、北区社保協の戸田代表もマイクで訴えました。

東区の宣伝・署名行動(写真右下)は社保協と年金者組合中心に14名の参加で、東区区役所前で行なわれました。ハンドマイクのリレーでの訴えと、ピラを300枚配布し、署名行動も一緒に行ないました。

西区は、西区社保協が地下鉄琴似駅前で後期高齢者医療制度廃止署名を行いました。年金者組合中心に24人が参加しました。40分で166筆の署名が寄せられました。

南区でも年金者組合、新婦人、革新懇などが中心となって、地下鉄真駒内駅前などで宣伝・署名を行いました。



たたかうネットワークを広げる 社保協の役割を確認

西区～くらし・いのちを守る区民のつどい



西区社保協は4月4日、くらし・いのちを守る区民の集いを開催し、加入団体などから50名以上が参加しました。

道生連の三浦誠一会長が「生活保護をはじめとする社会保障を守る闘いの成果と課題」をテーマに講演し、派遣村以降の生活保護行政の前進成果と、今後自治体に向けて幅広い人たちと共同して闘う社保協の役割の大切さが強調されました。

リレートークでは、解雇通告をローカルユニオン「結」に参加して撤回させた青年印刷労働者の奮闘ぶりなど、参加者が大変元

気になる報告がありました。生存権裁判原告の川口さんからの告発、年金生活者酒谷さんからの後期高齢者制度への怒りの告発、地域の民生委員さんから日頃の声かけで奮闘している様子、医療現場からは、無料低額診療の内容と事例の紹介、教育現場からは卒業式に出れない・病院にかかれないなど教育現場で起きている困難さの実態報告がされました。

リアルな報告を通じて、くらしのあらゆる分野で貧困と格差が広がり、困難な状況が起きていることを参加者が確認する集会となりました。相談活動の重要さと、専門家と共にたたかうネットワークを広げる社保協の役割の重要性が改めて浮き彫りになりました。

新婦人が介護、就学援助などで市に要望書

新婦人札幌協議会は3/31、上田市長あてに①介護保険の改善、②就学援助の改善、③妊婦健診の対象拡大、④細菌性髄膜炎ヒブワクチンの公費接種実施などの要望を申し入れました。

連休明けに、これらの内容で市と話し合いを持つことにしています。

障がい者交通費助成削減に反対する 宣伝・署名行動

4月18日(土) 13時～14時
 大通西3丁目

札幌市の障がい者交通費助成削減に反対する連絡会(連絡先: 障道協)主催